

# 議員定数削減を可決 18人から17人へ

遠野市議会では、議員6名で構成する議会改革推進委員会がまとめた、議員定数、議員報酬及び政務活動費のあり方についての報告書について、令和3年12月10日及び令和4年2月3日の議員全員協議会において協議しました。

その結果、議員定数を現行の18人から17人に変更することを決定し、今定例会で条例を改正しました。  
なお、本改正による議員定数は、令和4年10月31日の任期満了に伴う次期市議選から適用となります。

議会改革推進委員会がまとめた報告書の要旨

### 議員定数

令和4年10月31日の任期満了に伴う次期市議選から1名減の17名とする。

### ▽定数1名減とした理由

市民人口も減少することから議員定数を減じることとし、定数については、1名から3名減の案がでた。

定数1名減とした主な理由は、令和4年4月から行政区再編が始まることから、さらに地域の事情課題に精通した議員活動が求められることが想定されること並びに、議員一人当たりの面積を試算した結果、宮古市に次ぎ

広大であることなどを考慮した。

また、正副議長選挙等が行われた場合、当選者を明確にし、議会運営を行うためにも議員定数を奇数にした方が良いと判断した。

### ▽議員定数を奇数とした場合の課題

議長を除く議員数が偶数となることから、議案採決において可否同数となることが想定される。

可否同数の場合は、議長が裁決権を行使することになるが、地方議会運営事典（編集：地方議会運営研究会）では「議長の裁決権行使は現状維持の原則により決することが望ましい。」としており、この原則を議員全員が

共通理解した上で、円滑な議会運営を行っていくことが出来る。

### 議員報酬・政務活動費

令和4年11月以降の新しい市議会へ若い世代や女性をはじめ多様な人材の参画を促進するためにも、議員報酬については、遠野市長に遠野市特別職報酬審議会への審議を要望することとする。

政務活動費は県内でも一番低い年間6万円となっている。議員活動をしていく上で、様々な情報を入手するための情報機器端末購入や通信費も必要不可欠であることから、それらを対象とするための、政務活動費の充実をさらに検討していく。



## 遠野市議会倫理規則を制定

遠野市議会では、「遠野市議会基本条例」第18条に定める「議員の政治倫理」の更なる確立と向上に努めることを目的に、令和4年2月3日に「遠野市議会倫理規則」を制定しました。

この規則は、議員全員が「高い倫理的義務」が課せられていることの重要性を再認識し、良心と責任をもって議員の品位を保持し、識見を高めるための内部規律としての位置づけも含めたものです。

今後さらに一層、市民皆様の負託に応えるための議員活動に努めてまいります。

## 遠野市議会会議規則を改正

遠野市議会では、女性をはじめ多様な人材が議員を目指すことが出来るようになるため、遠野市議会会議規則に定める会議の欠席事由に「配偶者の出産補助」および「産前産後8週間」の期間を追記する改正を行いました。



# 学んで 行動する 議会へ

## 教育民生常任委員会

調査日 令和4年2月1日  
所属議員 菊池 巳喜男  
菊池 浩士  
佐々木 僚平  
菊池 美也  
萩野 幸弘  
浅沼 幸雄



## 岩手中部クリーンセンターごみの広域処理の状況を調査

管内のごみ処理の現状を調査するために視察を実施した。  
岩手中部クリーンセンターは、3市1町で構成する広域行政組合（当議会より3名の議

員が組合議会議員）により平成27年10月稼働開始から今日まで順調に可燃ごみの処理を行っている。  
遠野市は、遠野中継センターを集約基地として集積し、この施設に運搬処理を行っている。

として、リデュース・リサイクルの※4Rに取り組んでいると事であった。  
運営に当たっては、3市1町で負担金を出し合い、環境への負荷を軽減し、安全・安定的な処理の中でダイオキシン類等の有害物質の発生抑制に除去設備を組み合わせ、良好な運営を行っているとの事であった。当地区からの集荷運搬業務も事故は無く順調のようであったが、市民のごみ

処理の負担が今後、増加しないことが求められていると感じた。  
一方、最終処分場については、令和28年までが残余年数と予測されており、その後は、3市1町での広域処分場を設定することが決まっているとのことであるが、場所については今後、検討していくとの事である。  
議会や常任委員会等では、今後ごみの処理や運営・環境について視察や調査を実施し、市民の負託に応えるべく注意深く進捗状況を把握していく必要がある。

※4Rとは  
Reduce（リデュース）：ごみになるものを「断る」「買わない」「持ち込まない」  
Reuse（リデュース）：ごみを「減らす」「出さない」  
Recycle（リユース）：そのままの形で「再利用する」  
また形を変えて「使い続ける」  
Recover（リサイクル）：一度資源に戻してから「再利用する」  
これらの4つのRのこと。



周辺地域とクリーンセンターの接点を軸に融合することを目的に、クリーンドーム（岩手中部広域行政組合地域振興施設）が、平成31年より稼働しており、屋内運動場は、地域住民の他、構成市町村住民（花巻、北上、遠野、西和賀地区）も利用することができる。

クリーンドーム（スポーツ施設）の営業時間は、9時～21時です。予約のお問い合わせは、0197-62-3260まで。詳細は、ホームページでもご確認できます。

